

自社製品で本格建築 資材メーカーへの転換

現場からの開発以来がきっかけ

(株)北斗金属工業は昭和42年に創業し、ねじ加工やテレビ・ラジオ等の電子機器の部品加工を行っていた。しかしながら、円高による親企業の海外移転、輸入品の増大、コストダウンの要請等、従来の部品加工業に陰りが見え始めた。そこで、平成3年より建築土木業界へ進出を図り、現在では100%建築関連事業を行っている。

こうした中、建設現場においてゼネコンから漏水対策技術の開発の依頼や地下工事現場での漏水防止のための防水シートの開発依頼があり、これをきっかけに自社製品の開発に取り組むようになった。

画期的な止水関連商品「アクアシャット」

地下の構造物を造る際には、必ずコンクリートとコンクリートの打ち継ぎ部が発生する。この打ち継ぎ部は山留壁から発生する水の通り道となり、漏水の原因となる。漏水は基盤を劣化させ、建物全体の存続をも脅かす。従来、漏水を防ぐ方法としては、ゴムシート等を全面に貼る方法しかなく、セパレータ等の貫通部分が生じる等、信頼性・作業性・採算性という点で満足のいくものではなかった。

そこで、開発されたのが「アクアシャット」である。「アクアシャット」は非加硫ブチルゴムを原料に作られており、コンクリートや鉄・塩ビ等に強力に接着するものである。特に本製品に使用されている非加硫ブチルゴムは独自の加工技術により一般のものに比べ柔軟性、接着性、耐久性に優れている。これにより止水性能を

飛躍的に向上させた。また、片面を水溶性フィルムで包み、作業者の手にゴムが付着するのを防ぐとともに、他社製品のような養生テープを剥がす手間もない。また、埃や

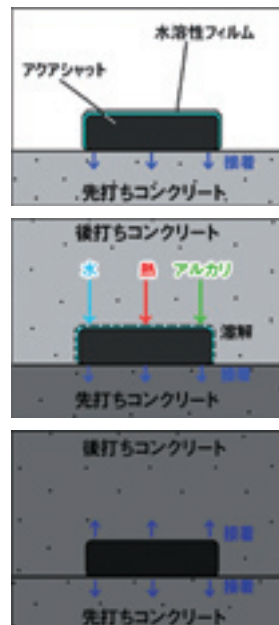


漏水をシャットアウトする「アクアシャット」

木屑等の汚れからゴムをガードする役目も持ち、コンクリート打設時にコンクリート中のアルカリ・熱・水分によって完全に溶解し、ゴムの表面が現れて、2次コンクリートの方にも接着する仕組みである。

さらに、躯体を貫通するセパレータ部からの漏水を防ぐ「ホクトリング」も開発し「アクアシャット」との併用で更に効果をアップさせている。

接着のメカニズム



離型紙を剥がした側が先にコンクリートに接着します。水溶性フィルム側はまだ接着性ありません。

後打ちコンクリート打設の際に、コンクリート中の水・熱・アルカリで水溶性フィルムが完全に溶解します。

水溶性フィルム溶解後、接着性があらわれて後打ちコンクリートに接着します。先打ちコンクリートの側にも加重がかかり、更に強力に接着します。

会社によるトータルサポート

(株)北斗金属工業は平成16年11月に事業可能性評価委員会において「事業の可能性あり」の評価を得て、現在もマネージャー等による継続的な支援を受けている。マネージャーからのアドバイスは多岐に渡っているが、経営戦略策定が大きな課題の一つであった。

そこで、まず専門家派遣事業を活用し「効率的なチャネルの構築」「全国展開のための取引先開拓」「価格設定の見直し」「データの管理」「意識改革による経営理念の策定」等を明確にし、中期経営計画を策定した上で、それに基づいたアクションプランを作成した。

企業概要

(株)北斗金属工業

東京都北区東田端 2-7-6

URL: <http://www.hokut.com/>

代表取締役 菅野 征人

資本金 2,000万円

業種 建築材料製造販売

主要製品 コンクリート打ち継部止水板「アクアシャット」
コンクリート型枠工事H鋼へのセパレータ保持
金具「スクリュュービット」他



耐圧盤工区境用の取り付け

製品カタログについても従来あまり見栄えのするものでなく、顧客からも不評であったものを、デザイン支援事業によりデザイナーを紹介し、新たに製品カタログを作成した。これは顧客にも好評であり、実売にも結びついてきている。

また、当社は知的財産の重要性を認識しており、必ず特許出願し権利化もしているが、同業他社から侵害の警告を受け訴訟になった際にも、その対応策について知的財産総合センターの相談窓口の活用を勧めた。その結果、裁判所の勧告により賠償請求が認められ、和解という結果が得られた。

さらに、販路の開拓については、大きな市場が見込

める公共事業への参入が課題であった。そこで、マネージャーが同行し、東京都の関係部局への紹介を実施した。特に建設局では当該製品を採用するには「新技術情報」への登録が必要であるということで、申請した後、新技術評価選定会議を経て選定された。これにより「新技術情報データベース」へ掲載もされることとなった。当社のPRとしては非常に効果的である。その後も水道局他他局への紹介も積極的に行っている。

期待される公共事業での活用

(株)北斗金属工業も自ら中小企業経営革新法の認定や国土交通省等公的機関の登録も受ける等積極的に活動を続けている。特に、国土交通省のNETIS(新技術情報システム)では、事前審査を経て試行を待つばかりであり、認定されれば国の公共事業での活用ができる。また、戸建の住宅から地下40mのトンネルや通信インフラの補修、耐震補強まで活用できる、「アクアシャット」を始めとした自社製品を総合的に使った工法の販売も開始した。着々と本格的建築資材メーカーとしての地位を固めつつある。

マネージャーの声

当社の強みは、その技術力にあります。しかしながら、単に技術が優れていることだけではなく、菅野社長自らが直接現場に赴いて現場の問題点やニーズを把握し、それを反映した製品を開発するという姿勢が更に当社の強みになっています。また、当社のもう一つの強みは、単に製品を開発するのみでなく、データもしっかりと取り、それに裏づけされた顧客アピールを行っていることにあります。

一方、長年下請的な事業を行ってきた企業の宿命として、菅野社長の市場開拓力や営業力は残念ながら不足が感じられます。しかしながら、ご子息が当社に入られ、営業の責任者として活躍されていることは、当社の今後にとって大いに期待が持てる状況であると思います。更に、技術面で補佐、継承してくれるもう一人のご子息も入社し活躍されているのは、近年後継者の不在が問題になっている企業が多い中で、非常に恵まれているものと言えます。

建築・土木業界は暫く厳しい状況が続くものと思われませんが、自社の恵まれた経営資源を活かしつつ、今後共親子三人力を合わせ、当社の名前に相応しく、建築資材メーカーにおける夜空に輝く星のように、きらりと輝くものを持った特徴ある企業として、堅実に成長されていくことを期待ならびに祈念しています。

企業の声

昨今「耐震問題」「手抜き工事」による人生の安全無視の風潮が蔓延しています。

当社は「現場のニーズに応え、安心と信頼の製品の開発」を経営方針としてゼネコンや作業者に信頼され安心して、喜んでいただける製品の開発と製造に努力してまいりました。地下コンクリート躯体工事用の「スクリュュービット」は型枠崩壊事故による生き埋めの危険を解決し、作業員から安心と信頼をもって施工をしていただいております。

止水製品「アクアシャット」は(勅)東京都中小企業振興公社のご支援をいただき、建築・土木の両分野で販売作戦を展開中です。